

北海道学び推進月間の取組

後志教育局
令和2年12月2日

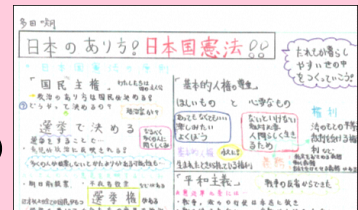
北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道春の学び推進月間の取組

家庭学習の質の向上を目指したノート指導の取組

小樽市立手宮中央小学校では、主体的に学ぶ力を育成するために、ノートを活用して日々の授業と家庭学習をつなぐ取組を行いました。全校で、教師も児童も「㊦ いない・㊧ やすい・㊨ くにつ」を合言葉に取組を続けることで、児童の授業ノートには、本時の課題や自分の考え、まとめなどがより確実に記載され



【家庭学習ノート】

るようになりました。学年が変わってもノートの取り方の基本は継続されるため、着実な力の積み上げにつながっています。児童は、その力を家庭学習でも発揮し、単元ごとにポイントをまとめるなどの姿が見られるようになりました。さらに、児童会が主体的に「ノートコンテスト」や「自主勉ノート交流会」を開催し、全校で学びを深めています。コロナ禍にあっても、学校全体で改善と検証をキーワードに、学力向上の取組を推進しています。

○ 北海道秋の学び推進月間の取組

岩内町総合振興計画に向けたワークショップの開催

岩内高校では、今年度、地域の活性化を念頭に、生徒自身が主体的に活動する機会を拡充するため、ふるさと創生委員会を創設しました。委員会では、地域の諸団体からの要請に応じるため、随時ボランティアスタッフを募集し、様々な場面で若い力を結集して地域の課題に向き合い、解決策を探ることで学びを深める取組を進めています。その一環として、町職員6名がファシリテーターとして来校し、まちづくりの指針となる次期総合振興計画の策定に向けたワ



【ワークショップの様子】

ークショップを行いました。理想とするまちの姿を設定し、これを達成するために、暮らしやすさや観光振興等の観点で町の現状や課題を議論しました。今後も地域の方々との繋がりを深め、地域と共にある学校づくりの推進に努めていきます。

「北海道学び推進月間」標語

- ☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 余市町立旭中学校3年 境 優 哉 さん
「禍中でも 僕らは学びを 続けてく」
☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 小樽市立朝里小学校5年 沼 山 あかり さん
「努力の実 いつか育つ たいじゅにね」
北海道蘭越高等学校3年 村 田 あかね さん
「勉学を 勉が苦でなく 勉楽に」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。